

あすどっく
(ASDoQ : Association of System Documentation Quality)

システム開発文書品質研究会

システムの開発文書（仕様書・設計書など）に興味を持つ会員が集まる任意団体

■ 目的

1. 開発文書の品質の定義
2. 開発文書の品質を測る方法の研究
3. 開発文書の品質を向上させる方法の研究

■ 活動

- 大会(1回/年), ワークショップ(1回/年), 研究会(3回程度/年)
2018大会テーマ：文書技術の展開 – 記述と思考の技術品質を考える –

■ 特徴

- 参加費無料
- 会員の多様性. 文書品質に関心を寄せ, 他種多様な業種や専門領域から参加
- 会員数
 - ▶ 法人：22社
 - ▶ 個人：123名 (2019.1.現在)

代表幹事	山本雅基	名古屋大学
アドバイザー	高田広章	名古屋大学
アドバイザー	田丸喜一郎	IPA/SEC
アドバイザー	山本修一郎	名古屋大学
幹事, 事務局長	藤田悠	長野工業高等専門学校
幹事	栗田太郎	ソニー(株)
幹事	小林直子	エプソンアヴァシス(株)
幹事	塩谷敦子	(同)イオタクラフト
運営委員	粕淵清孝	(株) SCREENアドバンスシステムソリューションズ
運営委員	奈良慶之	(株)ペリサーブ
運営委員	森川聡久	(株)ヴィッツ
運営委員	山崎伸洋	住友電気工業(株)
会計監査	中澤達夫	長野工業高等専門学校

スタッフも, 企業や学校から,
開発者・教育者などいろいろ

活動成果

●公開情報 (<https://asdoq.jp/research.html>)

- システム開発文書品質モデル (Ver.1.1) * 2018.10に更新しました
- 用語集(Ver.0.0)
- ASDoQ White Paper
- ソフトウェア要求仕様書のサンプル

●会員限定情報

- 開発文書品質の特性の整理
- 文書作成技術の一覧
- システム開発技術の一覧
- 用語集Wiki
- 良い例文・悪い例文

●大会やワークショップや研究会で得られた無形の価値

- 討議, 気づき, 人脈… さまざまな広がり

システム開発文書品質の定義

品質モデルの
利用シーンを
ポスターにて
参照ください

読み手が開発文書を取り扱う段階に応じて、品質特性を定義。



システム開発文書品質モデル(Ver.1.1)

情報品質

記述品質

得られた情報を用いて、担当業務を遂行する

行為

他の情報または既知の知識と関連づけて、深い水準で理解する

理解

文字、図形などを読みとり、内容を表層的に認識する

認識

品質特性	説明	品質副特性	測定項目 (例)
完全性	開発に必要な十分な情報が記載されている	合目的 正確 妥当	読み手を明示している 情報が正しい (真である) 許容する資源の範囲で開発可能である
論理性	論理的に整合がとれている	無矛盾 一貫 構造	項目間の矛盾がない 理由または根拠を明記している 階層が合理的である
理解容易性	理解しやすい	非曖昧性 関係	複数の解釈が成り立たない 参照先および引用元を正しく明示している
可読性	読みやすい	簡潔 統一 表記工夫	一文一義である 視点を統一している 箇条書きまたは図表を適切に使用している
規範適合性	記述が標準または規則に準拠している	文法適合 記法適合 基準適合	誤字脱字がない 箇条書きのルールに適合している テンプレートに準拠している

- システム開発文書品質モデルのシート (ポスター展示エリアにて配布中, ダウンロード可能)

<https://asdoq.jp/research.html>

- 品質モデル概要と試行した課題の掲載論文

「システム開発文書品質モデル活用への取組み」情報処理学会デジタルプラクティス Vol.8 No.2 (Apr. 2017)

<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/dp-mokuji.html>

([総目次]から当該号へ, 閲覧無料)

「完全性」への取り組み

- 今年度から,
「完全性」(下表の赤枠)に取り組んでいる。
- 2017年度までは,
「システム開発」に限定しない文書品質(下表の緑枠の品質特性)に取り組んできた。
 - ワーキンググループで, 理解容易性や可読性の良い例・悪い例をリストアップ
 - ASDoQ大会で, テクニカルライティングの技術を高めるチュートリアルを開催

品質特性	品質副特性	測定項目 (例)
完全性	合目的 正確 妥当	読み手を明示している 情報が正しい (真である) 許容する資源の範囲で開発可能である
論理性	無矛盾 一貫 構造	項目間の矛盾がない 理由または根拠を明記している 階層が合理的である
理解容易性	非曖昧性 関係	複数の解釈が成り立たない 参照先および引用元を正しく明示している
可読性	簡潔 統一 表記工夫	一文一義である 視点を統一している 箇条書きまたは図表を適切に使用している
規範適合性	文法適合 記法適合 基準適合	誤字脱字がない 箇条書きのルールに適合している テンプレートに準拠している

開発文書に

[何] を書くのか?

[どのように]
書くのか?

今 後

- システム開発文書品質に関する建設的な議論を通じて、文書品質モデルをブラッシュアップしていく
- 文書品質モデルの活用事例を増やす
システム開発文書に関わる方は、ぜひ身近な業務に使ってみてください
(文書作成・レビュー・品質測定・教育など)
- ワーキンググループ活動にて各テーマを推進する
 - 文書品質モデル活用WG
 - 文書品質測定WG
 - 人材育成WG

<Web> <https://asdoq.jp/>

<E-mail> secretariat@asdoq.jp (事務局)

